

R 6 年度 敬愛保育園自己評価 公表

2025 年3 月 25 日

評価基準 A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する

【 保育所保育に関する基本原則 】

(%)

		A	B	C	D
園目標 保育理念	1 園目標の「健康で明るい子ども」「優しく豊かな感性のある子ども」「感謝と思いやりのある子ども」「物事に意欲的に取り組む子ども」に取り組んでいる	90	10	-	-
	2 保育理念や保育方針を理解し、日々の保育活動に生かしている	92	7	1	-
人権尊重 守秘義務	3 子どもの最善の利益を考慮して、最もふさわしい生活の場になることを理解している	85	10	5	-
	4 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	85	10	5	-
	5 性差への先入観による固定的な観念や役割等の意識を植え付けないように配慮してる	85	15	-	-
	6 保育業務の中で知り得た子どもや家庭に関する情報について、守秘義務を徹底している	97	3	-	-
	7 子どもの個人記録や保護者に関する情報は、個人情報保護法に基づいて管理、保管している	95	5	-	-
	8 保護者や地域の人からの相談事項について、プライバシーの保護、話された内容の秘密保持を徹底している	95	5	5	-

【 保育に関して 】

		A	B	C	D
保育 内容	1 子ども一人ひとりを受容して、さらに理解を深めながら状況に応じて対応している	80	18	2	-
	2 基本的生活習慣の形成や自立に関しては、子どもの状況に応じて対応している	85	8	7	-
	3 子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境が整備されている	55	45	-	-
	4 身近な自然や社会との関わりを通して、命の大切さや季節感などの豊かな感性を育むよう配慮している	95	4	1	-
	5 子ども同士の関わりで、順番を守る等の社会的ルールを身につける配慮をしている	95	3	2	-
	6 遊びや生活を通して社会性や自主性を育て、人間関係が育つようにしている	95	5	-	-
	7 身体を使った様々な表現遊びや、様々な素材を使って表現活動が体験できるよう配慮している	82	15	3	-
	8 乳児保育のための衛生的で安心な環境を整備し、一人ひとりの子どもの発育や状況に合わせて、睡眠や遊び、授乳・離乳食などを配慮している	92	8	-	-
	9 子どもの発達に応じた玩具や遊具の安全管理と、子どもの行動から目を離さず責任を持った保育をしている	85	15	-	-
	10 子どもに分かりやすい温かな言葉遣いで話をしている	70	28	2	-

【 養護に関する基本的事項 】

		A	B	C	D
養護の理念	1 養護と教育を一体的に行うことを意識して、保育にあたっている	80	18	2	-
	2 「養護」は生命の保持・情緒の安定で構成され、「教育」では乳児期は3つの視点、満1歳以上は健康・人間関係・環境・言葉・表現の5領域から構成されていることを理解している	85	15	-	-
生命の保持	3 一人ひとりの健康状態や発達について把握し、異常に気付くことができる	85	13	2	-
	4 生理的欲求が十分に満たされるようにしている	80	18	2	-
情緒の安定	5 子どもの気持ちを理解し、信頼関係を築くよう心がけている	95	5	-	-
	6 自分の思いや意見をはっきり伝えることができるよう配慮し、尊重している	75	20	5	-

【 保育の計画及び評価 】

		A	B	C	D
全体的な 計画	1 全体的な計画に関して、全職員で共有している	90	7	3	-
	2 長期的な見通しをもった計画を立て、全職員で共有している	70	5	25	-
指導計画の 作成	3 日常の保育を通して、子どもの思いや気持ちを汲み取りながら、指導計画に反映させている	92	7	1	-
	4 各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画となっている	85	12	3	-
	5 日々の保育の連続性や季節の変化を考慮して指導計画を作成している	93	7	-	-
	6 3歳未満児は、一人ひとりの子どもの発達状況、保育計画、生活状況について作成している	90	8	2	-
	7 子どもが主体的に活動できるよう、環境設定をしている	70	24	6	-
	8 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮している	85	12	3	-
指導計画の 展開	9 子どもの実態や状況の変化に応じて、見直しや改善を行っている	92	3	5	-
評価、改善	10 園全体としての評価を行い、全職員の共通理解のもと、改善に努めている	95	5	-	-

【 幼児教育を行う施設として共有すべき事項 】

			A	B	C	D
資質・能力	1	教育・保育において育みたい資質・能力の3本の柱を理解している	90	10	-	-
	2	長期的な見通しをもった計画を立て、年齢ごとに必要な経験の機会を与えている	92	3	5	-
姿	3	「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」を理解して計画を立て、保育にあたっている	93	7	-	-

【 子どもの健康支援 】

			A	B	C	D
健康発達	1	感染症が発症した際は、マニュアルに基づいて対応し、保護者にも通知している	90	10	-	-
	2	健康診断・歯科健診の結果について保護者や職員に伝達し、それを保育に反映している	90	10	-	-
	3	虐待防止マニュアルがあり、虐待の早期発見に努めている	95	5	-	-
健康増進	4	安全管理及び乳幼児突然死症候群(SIDS)を予防するマニュアルがあり、職員に周知され活用している	95	5	-	-
	5	毎月身体測定を行い、子どもの発育状況を把握している	98	2	-	-
	6	子どもの健康情報を共有し、子どもの既往症(アレルギー・熱性けいれん・脱臼癖・喘息等)について、すべての職員に周知するとともに、その発生時の対応を行っている	92	5	3	-
疾病等への対応	7	アレルギー疾患、慢性疾患等を持つ子どもに対して、主治医から指示を得て、適切な対応を行っている	95	5	-	-
	8	アレルギー疾患等を持つ子どもに対して全職員が周知し、栄養士・調理員と連携を持ち、個々に合わせた対応を行っている	95	5	-	-

【 食育の推進 】

			A	B	C	D
保育所の特性を生かした食育	1	乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、給食について見直しや改善をしている	95	15	-	-
	2	乳幼児に身につけておきたい挨拶や姿勢、食具の持ち方等、食事のマナーを伝えている	90	10	-	-
環境整備	3	子どもの発達に応じて、食事の介助を適切に行い、落ち着いた環境で楽しく食事を摂取することができる	85	15	-	-
	4	子どもが栽培、収穫した物や調理した物を食べる機会を作るように心がけている	95	5	-	-

【 衛生管理・安全対策 】

			A	B	C	D
環境及び衛生管理	1	園舎内外の清掃をして清潔に保ち、安全点検を実施し、子どもが心地良く過せるように配慮している	95	5	-	-
	2	玩具や遊具は、常に衛生的に保持している	95	5	-	-
	3	生活の場面に合った保育士等の声掛け・音楽などの音に配慮している	92	6	2	-
	4	身近な自然に触れる機会を設け、季節感や豊かな感性を育む配慮をしている	85	15	-	-
	5	子どもが活動しやすいように、保育室の温度・湿度・換気・彩光等に配慮している	95	5	-	-
事故防止及び安全対策	6	ヒヤリハットを共有し、事故防止に努めている	95	5	-	-
	7	食事中・午睡中・水遊び中等の場面で、重大事故が発生しやすいことを認識し、事故防止に努めている	95	3	2	-
	8	外部からの侵入に対して、マニュアルに沿った動きがとれる	60	38	2	-

【 災害への備え 】

			A	B	C	D
避難への備え	1	様々な災害を想定した避難訓練を行っている	97	3	-	-
	2	地震・風水害等の災害発生時に対するマニュアルがあり、子どもの安全確保の取り組みをしている	97	3	-	-
	3	保護者との連絡体制や引き渡し方法が確認されている	93	7	-	-
	4	備蓄品の確認、備蓄場所等を職員が周知している	80	15	5	-
安全確認	5	消火器・火災報知器・配電盤の設置場所が分かり、操作方法を知っている	90	10	-	-
	6	施設の安全点検を行い、改善している	95	5	-	-
連携	7	地域や地域の関係機関と連携を図り、協力が得られるように努めている	85	15	-	-

【 子育て支援 】

			A	B	C	D
支援と留意事項	1	保育士等は日常、保護者や子どもの様子を注視し、虐待の予防や早期発見に努めている	95	5	-	-
	2	保護者が子育ての悩みや心配事を安心して話せる存在になるように心がけている	95	5	-	-

【保護者への支援】

			A	B	C	D
保護者との相互理解	1	送迎の際の対話や連絡帳への記載等の日常的な情報交換に加え、別に機会を設けて個人面談を行い、相談に応じている	95	5	－	－
	2	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が記録され、必要に応じて関係職員に周知されている	98	2	－	－
	3	園だより・クラスだより等を定期的に発行している	100	－	－	－
	4	あらかじめ、年間行事の日程を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている	98	2	－	－
	5	懇談会を開催し、保護者と共通理解を得られる機会を設けている	97	3	－	－

【小学校・地域との連携・交流】

			A	B	C	D
小学校との連携	1	小学校との交流や情報共有等、連携を図っている	95	5	－	－
	2	子どもにおける情報共有に関して、保育所児童保育要録を作成している	100	－	－	－
地域社会との連携	3	園内見学（ホームページ公開）や行事参加等、地域の人々に見てもらえるようにしている	98	2	－	－
	4	実習生、ボランティア、体験保育等を受け入れている	98	2	－	－
地域の子育て支援	5	地域における子育て支援を実施し、地域の子育て支援ニーズを把握するよう努めている	95	5	－	－
	6	地域の方々と関わる機会を設け、積極的に地域交流を行っている	65	30	5	－

【職員の資質向上に関する基本的事項】

			A	B	C	D
保育所職員の求められる専門性	1	相手の立場にあった挨拶・電話対応・来客者対応ができています	82	18	－	－
	2	自己の健康管理ができています	90	8	2	－
	3	保育に関わる様々な知識や技能の向上に努めている	70	25	5	－
質の向上に向けた組織的な取り組み	4	業務遂行にあたって、正確・迅速かつ、報告・連絡・相談を実施している	90	10	—	－
	5	公平に人の話を聞いたり、話ができ、正確に伝達できている	90	10	－	－
	6	問題意識を共有しながら職員間で共通理解し、協力している	90	7	3	－
研修の活用	7	園内研修を行っている	98	2	－	－
	8	各職員について、適切な研修機会の確保を行っている	98	2	－	－

【行事に関して】

			A	B	C	D
園内行事	1	行事の種類や実施回数は適切である	82	10	8	－
	2	行事のねらいを計画や実施に十分生かしている	90	3	2	－
	3	乳幼児に活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしている	90	10	3	－
	4	計画・実施・評価・改善の体制をとっている	95	5	－	－
	5	保護者の意見を取り入れている	92	3	5	－

主任保育士・保育士・保育補助・給食担当者等全職員で評価を行い、集計いたしました。
令和7年度より幼保連携型認定保育園として、さらに、より良い保育園となるよう、以下の課題に取り組んでいきます。

- ・衛生管理、安全管理に関して、細やかに対策をたて、子どもたちがより安心安全に園生活をおくれるよう努める。
- ・地域との交流の場をつくり、さらに開かれた保育園をめざす。

敬愛保育園園長 小岱紫明